

2021年度バイオマス産業都市構築の推進に関する提言骨子

バイオマス産業都市推進協議会では、会員から地域課題や技術的課題を集約して、ここに、バイオマス産業都市を選定する関係7府省に向けた提言を取りまとめました。協議会としては、バイオマス産業都市の構築について自助努力を重ねてまいります、府省におかれましても提言内容を精査頂き、施策の展開をお願いします。

記

【バイオマス産業都市構築に関わる施策の継続と強化について】

- 一、バイオマス産業都市に選定された市町村の数は97まで増加したが、本格的なバイオマス産業都市の構築に向けた施策を継続して頂きたい。また、構想の事業化支援、先行地域の取組の横展開、停滞気味の地域に対するハンズオン支援の強化、バイオマス産業都市に選定されていることによる価値の発揮を進めて頂きたい。

【FIT 関連について】（経済産業省）

- 一、バイオマス発電が、地域における農林水産業資源の活用により、エネルギーの地産地消を通じ、農山村の産業の振興、地域の活性化等に寄与するものであることを踏まえ、引き続き、その特質に応じた制度運用にご配慮を頂きたい。
- 一、バイオマス発電事業等に関わる事業者に対する国、県の審査及び支援については事業経営の安定性・健全性を十分に考慮して頂きたい。
- 一、バイオマス発電のノンファーム型接続においては、系統混雑時の出力制御に関する条件について明確に示すとともに、条件の変更に際しては2年程度の助走期間を持たせる制度にして頂きたい。
- 一、出力制御のオンライン化については、バイオマス発電の特質を踏まえた対策を検討して頂くとともに、必要な設備導入の情報提示と導入のための資金支援をして頂きたい。
- 一、今後、FIT 売電を終了する施設が徐々に増えてくる中、地域内のバイオマス利活用推進のため、施設更新に関する補助等の支援をお願いしたい。
- 一、バイオマス熱利用及び熱電併給の推進に関する支援をお願いしたい。
- 一、ポスト FIT を見据えたバイオガスの直接利用の普及拡大に繋がる支援をお願いしたい。
- 一、FIP の導入に伴うアグリゲーターの育成等、FIP の活用推進に関する支援をお願いしたい。

【脱炭素先行地域関連等について】（環境省）

- 一、脱炭素先行 100 地域の選定に当たっては、省庁の方針に基づき温暖化対策に資する構想や計画を提出して認定されているものは、バイオマス産業都市構想を含めて、何らかの加点措置を講じて頂きたい。
- 一、バイオマス活用による温室効果ガス削減効果について、貢献を公式に表明できる LCA 等の手法による簡易な算出方法を示して頂きたい。
- 一、2030 年カーボンニュートラル実現に向けて、それぞれのバイオマス利活用事業に関する CO₂ 削減効果を誰もが算出できるためのツールの整備をお願いしたい。
- 一、バイオマス由来の熱を地域で使うための需給マッチングについて、用途別の温度帯や量を含めて、地域で活用できる情報を整備して頂きたい。
- 一、バイオマス産業都市が実施する木質バイオマスの排熱利用等、化石燃料の削減を目的とした温暖化対策事業について支援をお願いしたい。
- 一、既設設備の延命化は脱炭素に貢献することから、設備延命等の支援をお願いしたい。
- 一、バイオマス産業都市におけるバイオマス事業の推進は CO₂ 削減に大きく貢献することから、カーボンプライシングにより得られた資金が自治体に還元されるような仕組みの構築をお願いしたい。

【バイオマス関連の技術開発について】（農林水産省・経済産業省・環境省・国土交通省・文部科学省）

- 一、現状では、バイオマス利活用技術に関しては、まだまだ海外製への依存が高く国内の地域に対応した利活用が進んでいないことから、国内メーカーにおけるメタン発酵装置、ガスエンジン、広葉樹の伐採機、バイオ炭製造装置等の高効率化に関する技術開発、ならびに自治体と国内メーカーが協力して実証を行う仕組みについての支援をお願いしたい。
- 一、ボイラーに関する規制緩和に伴い、カーボンニュートラルに貢献する木質バイオマスボイラーの導入拡大が期待されることから、木質バイオマスボイラーの導入の措置や国産の木質バイオマスボイラーの技術開発の支援をお願いしたい。
- 一、バイオ液肥の濃縮は輸送・散布のコストや CO₂ 排出の削減に繋がることから、濃縮技術の開発支援を加速化して頂きたい。
- 一、「プラスチック資源循環戦略」において、2030 年までにバイオマスプラスチックを 200 万トン導入することを目標に掲げている。この目標を達成させるために、早期に実証スケールでの微細藻類を活用したバイオマスプラスチック製造等に関する技術開発支援とバイオマス由来のプラスチック製造に必要な原料の国産化を促進する施策を講じて頂きたい。
- 一、グリーン成長戦略の資源循環関連産業の取組として、「ごみ質の多様性に対応したバイオガス施設の技術実証事業を進めるとともに、下水道バイオマス利活用推進の下水道エネルギー拠点化コンシェルジュ事業の充実など地方公共団体における案件形成促進

を 2025 年度まで集中的に取り組む」ことや地域の社会インフラとしての機能を高めた廃棄物処理施設の整備等が掲げられているが、その進捗状況について教えて頂きたい。

- 一、航空機燃料（SAF）の国内確保に向けて、非食用の資源作物や微細藻類の生産、廃食用油の利用等の施策を検討頂きたい。また、廃食用油については、貴重な資源であるという観点から、外国へ流出させるのではなく、バイオディーゼル燃料の B5 における車両燃料利用に加えて、第 1 次産業での B100 利用等の多様な用途での利用を支援頂きたい。
- 一、国の SDGs 政策、2050 年カーボンニュートラルの達成及び炭素貯留に大きく貢献することが期待されるバイオ炭の技術開発と利用推進のより一層の支援をお願いしたい。

【その他】（農林水産省・経済産業省・環境省・国土交通省・総務省・内閣府）

- 一、下水汚泥由来のバイオマスを原料とする堆肥やバイオ液肥は現行では有機農産物に使用可能な資材として認められていないことから、下水汚泥由来のバイオマスを原料とする堆肥やバイオ液肥及び乾燥汚泥が有機農業で使用可能となる措置をお願いしたい。
- 一、バイオ液肥は現行の肥料登録における区分では個別の項目がないことから、新たにバイオ液肥の項目を追加して頂きたい。
- 一、荒廃農地等復旧利用が困難な農地で資源作物を栽培して燃料化につなげる取組については、食料競合の議論から切り離して頂きたい。
- 一、荒廃農地等復旧利用が困難な農地における広葉樹・早生樹及び資源作物の集約的な栽培や活用推進を行う施策を講じて頂きたい。
- 一、将来を見渡して、廃食用油の国内用途について、国益に資する方法の議論を加速化して頂きたい。
- 一、バイオマス施設等に関しては、試運転後の実際の運用等について、メーカー等の技術者から現場の管理者への人材育成が必要不可欠であるため、施設が安定的に稼働するまでの約 2 年間の人材育成費用を支援頂きたい。

以上